

2014 年度 研究センター事業報告書

| | |
|----------|----------------|
| 研究センター名 | 白川静記念東洋文字文化研究所 |
| 研究センター長名 | 杉橋 隆夫 |

I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究センター5ヵ年計画に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

1) 学術研究事業 (以下①～④)

①2014 年度は、「白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果についての研究」という研究課題が、本学の「研究推進プログラム（基盤研究）」（研究代表者：萩原正樹、研究費：150 万円）に採択され、2013 年度に計画していた研究をスタートさせることができた。

本研究は、福井県教育委員会との共同研究のかたちをとり、白川文字学に基づいて漢字教育を受けている子どもは、そうした教育を受けていない子どもに比べて、どのような能力を発達させているかを明らかにすることが目的とする。またそうした教育の有利性は、漢字の領域だけに限定されるのか、それとも他の領域に転移するのかなどを検討する。小学校3年生と5年生を継続的に2年間に互って追跡し、子どもの学習の変化なども検討する予定である。白川文字学に基づいて漢字教育を受けている福井県内の小学校と、そうでない他府県の小学校において、二回のテストと漢字に関するアンケートを実施した。データは分析中だが、2015 年度も継続し、白川文字学に基づく漢字教育の効果を検証していきたい。本研究により、初等教育における漢字教育について、効果的な提言を行いうるものと考えている。

②2014～2016 年度三菱財団人文科学研究助成(2014 年 10 月～2016 年 9 月、研究代表者：萩原正樹、研究費：200 万円)に採択され、「白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果」という課題で研究を開始した。本研究は、上記の福井県教育委員会との共同研究を含み、2015 年度以降の諸経費については、本研究費より支出する。また 2013 年度に計画していた「白川フォント」作成にかかる経費も賄う。白川文字学による漢字教育を行うには、児童や生徒達に、甲骨・金文・篆文等の字形を見せる必要があるが、そのためにはパソコン上で使えるフォントが用意されねばならない。しかしながら、簡単に無料で利用できるフォントがこれまで存在せず、教員は手書きか、コピーの切り貼り等で対応するしかなかった。これを誰もが手軽に利用できるように、フリーのフォントを作成し、また文字化けの恐れが無いように Unicode のコードに割り当てるといったのが本研究の目的の一つである。この間、情報理工学部の前田亮教授の協力を得て、既に 1,300 弱の文字が作成され、現在字形について細かなチェック作業を進めている。2015 年度は福井県との共同研究とフォント作成をさらに推進し、教材の開発等にも事業を拡大する予定である。

③2014 年度はまた、「国際シンポジウム「西欧と漢字文化との出会い」の開催」というテーマで、「研究の国際化推進プログラム（後期募集分）」（研究代表者：萩原正樹、研究費：100 万円）に採択された。国際シンポジウムは、当研究所と間文化現象学研究センターとの共催で開くこととし、2015 年 3 月 8 日（土）に本学衣笠キャンパス、敬学館 210 教室において国際シンポジウムを開催した。発表者として香港中文大学の関子尹氏、フランス国立科学研究センターのフランソワーズ・ボッテロ氏、高麗大学の沈慶昊氏を招き、それぞれ、西洋の哲学・現象学研究と漢字文化研究を結ぶ接点、キリスト教宣教師たちの漢字理解、韓国での漢字文化の受容と現状等について、大変意義深い研究発表を得た。三名の方々とは、今後とも「白川静記念東洋文字文化研究所」「間文化現象学研究センター」との協力関係の継続を確認し、研究ネットワークを香港やフランス・韓国にまで広げることができた。これをもとに両研究センターによる共同研究を国際的にも展開していきたい。

④2012 年 4 月より当研究所の研究部門となった漢字学研究会については、2013 年度同様 2014 年度も月 1 回のペースで研究会を行い、新出金文の紹介と講読に取り組み、若手研究者の育成・当該研究分野の発展に着実に寄与した。初期漢字研究会に参加する院生・若手の数も、増加している。

2) 文化事業

全国で漢字講座やワークショップを計 30 回開催、のべ 2437 名の受講者があった。2006 年度から全国で開催している体験型漢字講座「漢字探険隊」は 2015 年 3 月 7 日、8 日に朱雀キャンパス・京都三条商店街での実施で通算 137 回を数えた。漢字教育士資格認定事業について、漢字教育士認定者数は 2015 年 1 月末で累計 294 名に上っている。

また、白川博士の業績を初等・中等教育現場に広く普及させるべく、当研究所客員研究員・後藤文男が中心となり、2014 年 4 月から立命館学園附属校教員による「白川式漢字学習法」開発ワーキングの活動を行っている。

前項国際シンポと同時に開催された白川賞授賞式は創設以来 9 回を重ね、また全国校友大会の一環として開催された「立命館アカデミック企画『白川静と漢字教育』」は広く斯界の注目を集めた。各々白川文字学の深化と普及に多く貢献した。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2015年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

| 役割 | 氏名 | 所属 | 職位 | |
|---------------------------------------|------------------|---------------------------------|----------|-----|
| センター長 | 杉橋 隆夫 | 文学部 | 特任教授 | |
| 運営委員 | 加地 伸行 | 衣笠総合研究機構 | 特別研究フェロー | |
| | 芳村 弘道 | 文学部 | 教授 | |
| | 上野 隆三 | 文学部 | 教授 | |
| | 萩原 正樹 | 文学部 | 教授 | |
| | 松本 保宣 | 文学部 | 教授 | |
| | 石井 真美子 | 文学部 | 准教授 | |
| 学内教員 (専任教員、研究系教員等) | 前田 亮 | 情報理工学部 | 教授 | |
| | 吉田 甫 | 文学部 | 特任教授 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 学内の若手研究者 | 専門研究員・研究員 | Batjargal Biligsaikhan | 衣笠総合研究機構 | 研究員 |
| | | 木村 文則 | 衣笠総合研究機構 | 研究員 |
| | 補助研究員・リサーチアシスタント | | | |
| | | | | |
| | 学振特別研究員(PD・RPD) | | | |
| 博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上在籍院生 | | | | |
| その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等) | 久保裕之 | 立命館大学社会連携課 | 専任職員 | |
| | 山田崇仁 | 立命館大学 | 非常勤講師 | |
| | 落合淳思 | 文学部 | 非常勤講師 | |
| 客員協力研究員 | 笠川 直樹 | 京都精華女子中学高等学校 | 教諭 | |
| | 高島 敏夫 | 立命館大学文学部 | 非常勤講師 | |
| | 小寺 誠 | | | |
| | 津崎 幸博 | 漢字教育工学学会 | 理事 | |
| | 馬越 靖史 | 京都外大西高等学校 | 非常勤講師 | |
| | 佐藤 信弥 | 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 /尼崎市立尼崎工業高等学校 | 非常勤講師 | |

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2015年3月31日時点)

| 1. 著書 | | | | | | | |
|-------|------|-----------------------|---------|----------|----------------------|-----------|--------------|
| No. | 氏名 | 著書・論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称 | その他編者・著者名 | 担当頁数 |
| 1 | 杉橋隆夫 | 陽明叢書 法制史料集 | 編著 | 2014年9月 | 思文閣出版 | 佐古愛己 | PP. 1-378 |
| 2 | 杉橋隆夫 | 〈増補改訂〉静岡県の歴史 | 共著 | 2015年1月 | 山川出版社 | 本多隆成他2名 | PP. 65-121 他 |
| 3 | 大形 徹 | 胎産書・雑禁方・天下至道談・合陰陽方・十問 | 単著 | 2015年3月 | 東方書店 | | 全424頁 |
| 4 | 湯浅邦弘 | 竹簡学—中国古代思想の探究— | 単著 | 2014年5月 | 大阪大学出版会 | | 全348頁 |
| 5 | 湯浅邦弘 | 菜根譚 | 単著 | 2014年10月 | 角川学芸出版 | | 全237頁 |
| 6 | 湯浅邦弘 | 入門 老荘思想 | 単著 | 2014年7月 | 筑摩書房 | | 全261頁 |
| 7 | 落合淳思 | 漢字の成り立ち | 単著 | 2014年4月 | 筑摩書房 | | 全286頁 |
| 8 | 落合淳思 | 殷 | 単著 | 2015年1月 | 中央公論新社 | | 全256頁 |

| 2. 論文 | | | | | | | | |
|-------|-------|----------------------------------|---------|----------|--|---------------|-------------|------|
| No. | 氏名 | 著書・論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌、巻・号数 | その他編者・著者名 | 担当頁数 | 査読有無 |
| 1 | 杉橋隆夫 | 〈文書解説〉 | 単著 | 2014年4月 | 角川書店、歴史読本6月号 | | PP. 216-219 | 無 |
| 2 | 上野隆三 | 北宋期の呉庸という人物について —『水滸傳』の呉用との関連から— | 単著 | 2014年6月 | 『高田時雄教授退職記念東方學研究論集』東方學研究論集刊行會編・2014年 | | PP. 75-88 | 無 |
| 3 | 萩原正樹 | 張滋昉詩文補遺 | 単著 | 2014年3月 | 宋詞研究会、風絮第10号 | | PP. 63~72 | 有 |
| 4 | 萩原正樹 | 詞籍「提要」訳注稿(三) | 共著 | 2014年3月 | 宋詞研究会、風絮第10号 | 保苺佳昭、松尾肇子等 | PP. 144~151 | 有 |
| 5 | 萩原正樹 | 龍榆生編選『唐宋名家詞選』訳注稿(十) | 共著 | 2014年3月 | 宋詞研究会、風絮第10号 | 保苺佳昭、松尾肇子等 | PP. 178~189 | 有 |
| 6 | 萩原正樹 | 漢詩文雑誌「菉竹新誌」—竹磳詩拾遺— | 単著 | 2014年7月 | 立命館白川静記念東洋文字文化研究所、立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要第8号 | | PP. 89~126 | 無 |
| 7 | 萩原正樹 | 詞籍「提要」訳注稿(四) | 共著 | 2014年12月 | 日本詞曲学会、風絮第11号 | 保苺佳昭、松尾肇子等 | PP. 127~137 | 有 |
| 8 | 萩原正樹 | 龍榆生編選『唐宋名家詞選』訳注稿(十一) | 共著 | 2014年12月 | 日本詞曲学会、風絮第11号 | 保苺佳昭、松尾肇子等 | PP. 170~186 | 有 |
| 9 | 松本保宣 | 「唐末五代前半期の朝儀について—入閣・起居・常朝を中心に—」 | 単著 | 2014年7月 | 『立命館東洋史学』37号 2 | 単独 | PP. 1~43 | 無 |
| 10 | 石井真美子 | 『六韜』諸テキストと銀雀山漢簡の関連について | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要、8号 | | PP. 37~60 | 無 |
| 11 | 高島敏夫 | 西周前期における王姜の役割—殷周革命論ノート(二)— | 単著 | 2014年7月 | 立命館白川静記念東洋文字文化研究所、同紀要、第8号 | | PP. 1~22 | 無 |
| 12 | 山田崇仁 | 「漢字」という熟語はいつ作られたのか(続編) | 共著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | 大形徹・横大路綾子・陳建民 | PP. 1~17 | 有 |
| 13 | 佐藤信弥 | 「三監の乱」説話の形成—清華簡『繫年』第三章より見る— | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 19~37 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|-------|--|----|----------|--|-----------|--------------------------|------|
| 14 | 三輪健介 | 西周王朝の財政 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 39~60 | 有 |
| 15 | 丸山啓樹 | 金文通解 作冊般竈 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 61~67 | 有 |
| 16 | 齋藤加奈 | 金文通解 何簋 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 69~82 | 有 |
| 17 | 馬越靖史 | 金文通解 差盤 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 83~126 | 有 |
| 18 | 齋藤加奈 | 积淀 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 127 ~ 134 | 有 |
| 19 | 末次信行 | 甲骨学の工具書案内 —甲骨学論著引用卜辞をめぐって— | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 135 ~ 158 | 有 |
| 20 | 馬越靖史 | 古文字学研究文献提要『甲骨学一百年』 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 159 ~ 160 | 有 |
| 21 | 三輪健介 | 古文字学研究文献提要『二十世紀金文研究述要』 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 160 ~ 163 | 有 |
| 22 | 佐藤信弥 | 古文字学研究文献提要『戦国文字通論(訂補)』 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 163 ~ 164 | 有 |
| 23 | 佐藤信弥 | 古文字学研究文献提要『商周古文字読本』 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 164 ~ 166 | 有 |
| 24 | 木村秀海 | 古文字学研究文献提要『中国古文字学通論』 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 166 ~ 169 | 有 |
| 25 | 村上幸造 | 古文字学研究文献提要『中国古代社会—文字と人類学的透視』 | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | | PP. 169 ~ 170 | 有 |
| 26 | 佐藤信弥 | 二〇一二年 古文字学論著目 | 共著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第2号 | 齋藤加奈・三輪健介 | PP. 171 ~ 211 | 有 |
| 27 | 佐藤信弥 | 2014年度夏期公開シンポジウム「情報化時代における中国学研究を考える」レポート | 単著 | 2014年10月 | 漢字文献情報処理研究会、漢字文献情報処理研究、第15号 | | PP. 36~39 | 依頼原稿 |
| 28 | 中村未来 | 日本における漢籍デジタル図版の公開状況とその意義 | 単著 | 2014年5月 | 全国漢文教育学会、新しい漢字漢文教育、第58号 | | PP. 116 ~ 127 | 有 |
| 29 | 中村未来 | 清華簡『周公之琴舞』の文献的性格 | 単著 | 2014年11月 | 國立高雄餐旅大學、2014年國立高雄餐旅大學應用日語「観光、言語、文學」國際學術研討會論文集 | | PP. 85~102 | 有 |
| 30 | 中村未来 | 甘肅省博物館參觀 | 単著 | 2014年12月 | 大阪大学中国学会、『中国研究集刊』(甘肅省出土簡牘調査報告)、第58号 | | PP. 142 ~ 145, 156 ~ 157 | 有 |
| 31 | 前原あやの | 張衡佚文の考察 | 単著 | 2015年3月 | 関西大学中国文学会、関西大学中国文学会紀要、36号 | | PP. 95~124 | 有 |
| 32 | 前原あやの | 星座の三家分類の形成と日本における受容 | 単著 | 2015年3月 | 関西大学大学院東アジア文化研究科、東アジア文化交渉研究、8号 | | PP. 295 ~ 311 | 有 |
| 33 | 大形 徹 | 列仙伝的道德仙人の萌芽 | 単著 | 2014年11月 | 中国道教協会、国際道教論壇論文集上 | 楊冰訳 | PP. 331 ~ 340 | 招待 |
| 34 | 大形 徹 | 龍角考—その一、キリンの角 | 単著 | 2015年3月 | 大阪府立大学人文学会、人文学論集、第33集 | | PP. 13~44 (縦書き) | 無 |
| 35 | 大形 徹 | 『列仙伝』にみえる道德的仙人の萌芽 | 単著 | 2015年3月 | 大阪府立大学人文学会、人文学論集、第33集 | | PP. 29~47 (横書き) | 無 |
| 36 | 湯浅邦弘 | 上博楚簡『舉治王天下』的堯舜禹伝説 | 単著 | 2014年10月 | 武漢大学簡帛研究中心『簡帛』第9輯 | | PP. 113 ~ 127 | 有 |
| 37 | 湯浅邦弘 | 観光資源としての老莊故里 | 単著 | 2014年11月 | 「観光・言語・文学」国際學術研討會論文集 | | PP. 1~6 | 有 |
| 38 | 張莉 | 甲骨文「𠄎」符号の原義について | 単著 | 2014年7月 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要、第7号 | | PP. 23~35 | 無 |

| | | | | | | | | |
|----|------|-------------------------------|----|----------|--|-----|---------------|---|
| 39 | 張 莉 | 歴史概念としての「東夷」について | 共著 | 2014年8月 | 古田史学論集『古代に真実を求めて』第17集(古田史学の会編) | 出野正 | PP. 23~240 | 有 |
| 40 | 張 莉 | 關於金印「漢委奴國王」的「委奴」之義 | 單著 | 2014年12月 | 《漢字研究》第11輯(慶星大學校韓國漢字研究所) | | PP. 18~192 | 有 |
| 41 | 張 莉 | 「文」字的民俗學方面字源考—白川靜《釋文》的再探討 | 單著 | 2015年3月 | 《中國學》51輯(大韓中國學會) | | PP. 12~144 | 有 |
| 42 | 山田崇仁 | レビュー&リソース紹介 一太郎2014徹&ATOK2014 | 單著 | 2014年10月 | 漢字文献情報処理研究会、漢字文献情報処理研究、第15号 | | PP. 93~96 | 有 |
| 43 | 山田崇仁 | レビュー&リソース紹介 華東師範大学中国文字研究与应用中心 | 單著 | 2014年10月 | 漢字文献情報処理研究会、漢字文献情報処理研究、第15号 | | PP. 120 ~ 125 | 有 |
| 44 | 福田一也 | 上博楚簡『靈玉遂申』の文献的性格 | 單著 | 2014年6月 | 大阪中国学会、『中国研究集刊』,第58号 | | PP. 83~100 | 有 |
| 45 | 福田一也 | 銀雀山漢簡『民之情』小考 | 單著 | 2014年11月 | 瓊汝出版社,2014年国立高雄餐旅大学応用日語系「観光・言語・文学」国際學術研討會論文集 | | PP. 66~84 | 有 |
| 46 | 福田一也 | 中井履軒『均田茅議』にみえる均田制策 | 單著 | 2015年2月 | 大阪大学大学院文学研究科懷徳堂研究センター, 『懷徳堂研究』,第6号 | | PP. 13~29 | 有 |

| 3. 研究発表等 | | | | | |
|----------|-------|-----------------------------------|----------|-------------------------------------|---------|
| No. | 氏名 | 発表題名 | 発表年月 | 発表会議名、開催場所 | その他発表者名 |
| 1 | 芳村弘道 | 關於《乾隆四庫全書無板本》所收《江湖集》中鮑廷博校本識語的研考 | 2014年5月 | 国際漢学學術報告会,北京大学国際漢学家研修基地 | |
| 2 | 芳村弘道 | 簡介朝鮮本《選賦抄評註解刪補》 | 2014年8月 | 《文選学》与漢唐文化国際學術研討會暨中国文選学会第十一屆年會,鄭州大学 | |
| 3 | 芳村弘道 | 明鈔本『新刊古今歳時雜詠』について | 2015年2月 | 東山之會,京都女子大学 | |
| 4 | 松本保宣 | 「唐制の継受からみる五代朝儀の諸問題」 | 2014年7月 | 大阪市立大学・上海師範大学學術交流会《中古時期社會與政治學術研討會》 | 単独 |
| 5 | 石井真美子 | 銀雀山漢墓竹簡殘簡の整理についての一考察 | 2014年10月 | 日本中国学会 第66回大会 | |
| 6 | 高島敏夫 | 折口信夫の祝詞論から金文の本質を考える | 2014年4月 | 初期漢字研究会、衣笠キャンパス | |
| 7 | 高島敏夫 | 西周時代における天の思想と天子概念(1) | 2014年9月 | 初期漢字研究会、衣笠キャンパス | |
| 8 | 高島敏夫 | 西周時代における天の思想と天子概念(2) | 2014年10月 | 初期漢字研究会、衣笠キャンパス | |
| 9 | 久保裕之 | 白川文字学の學術背景と成果 | 2014年10月 | 台湾・国立台北教育大学「白川文字学と漢字教育」国際シンポジウム | |
| 10 | 武田秀夫 | 虎簋蓋 | 2014年4月 | 第22回漢字学研究会 | |
| 11 | 佐藤信弥 | 李学勤主編『字源』について | 2014年4月 | 第22回漢字学研究会 | |
| 12 | 山田崇仁 | 楚季鐘 | 2014年5月 | 第23回漢字学研究会 | |
| 13 | 三輪健介 | 文璽 | 2014年6月 | 第24回漢字学研究会 | |
| 14 | 馬越靖史 | 四十二年差鼎(1) | 2014年9月 | 第26回漢字学研究会 | |
| 15 | 馬越靖史 | 四十二年差鼎(2) | 2014年10月 | 第27回漢字学研究会 | |
| 16 | 馬越靖史 | 四十二年差鼎(3) | 2014年11月 | 第28回漢字学研究会 | |
| 17 | 張莉 | 2014年「漢字與東亞文化」国際學術研討會暨大韓中国学会年會 報告 | 2014年12月 | 第29回漢字学研究会 | |
| 18 | 張莉 | 「文」字についての民俗学的考察 | 2014年12月 | 第29回漢字学研究会 | |

| | | | | | |
|----|-------|---------------------------------|------------|---|------------|
| 19 | 佐藤信弥 | 晋侯蘇鐘 (1) | 2014年12月 | 第29回漢字学研究会 | |
| 20 | 佐藤信弥 | 晋侯蘇鐘 (2) | 2015年1月 | 第30回漢字学研究会 | |
| 21 | 落合淳思 | 字源から見た殷周間の文字継承 | 2015年1月 | 第30回漢字学研究会 | |
| 22 | 佐藤信弥 | 晋侯蘇鐘 (3) | 2015年2月 | 第31回漢字学研究会 | |
| 23 | 中村未来 | 清華簡『周公之琴舞』の文献的性格 (中国語) | 2014年5月31日 | 2014年国立高雄餐旅大學應用日語系「觀光、言語、文學」國際學術研討會、高雄餐旅大学 (台湾) | |
| 24 | 中村未来 | 清華簡『周公之琴舞』の文献的性格 | 2014年7月13日 | 中国出土文献研究会 (第55回)、大阪大学 | |
| 25 | 中村未来 | 清華簡『芮良夫毖』初探 | 2015年3月7日 | 「漢学」國際學術研討會、致理技術学院 (台湾台北縣板橋市) | |
| 26 | 前原あやの | 靈憲と渾天儀 | 2014年6月 | 第239回近畿和算ゼミナール、大阪産業大学 | |
| 27 | 前原あやの | 星座分類中の三家分類の位置づけ | 2014年9月 | 平成26年度東西学術研究所第4回研究例会、関西大学 | |
| 28 | 前原あやの | 三垣分類の形成と天市の位置づけ | 2014年10月 | 日本中国学会第66回大会、大谷大学 | |
| 29 | 大形 徹 | 建物などを守る辟邪呪物—中国・日本・タイなどの事例をもとにして | 2014年5月 | 形の文化会大会「戦略のかたち」 大阪府立大学 B3棟1階 | 大野朋子 (共著者) |
| 30 | 大形 徹 | 『列仙伝』にみえる道德的仙人の萌芽 | 2014年7月 | 2014年度大阪府立大学人文学会 | |
| 31 | 大形 徹 | 列仙伝的道德的仙人的萌芽 | 2014年11月 | 第三屆國際道教論壇、中国道教協會、中華宗教交流文化協會、江西組委會。中国江西省、鷹潭・龍虎山。 | |
| 32 | 大形 徹 | 『旧唐書』音楽志訳注 | 2014年12月 | 関西大学 | |
| 33 | 大形 徹 | 『旧唐書』音楽志訳注 | 2015年3月 | 関西大学 | |
| 34 | 張 莉 | 金印「漢委奴國王」の「委奴」について | 2014年8月 | 世界漢字学会第二回年会 (於福岡志賀島、休暇村) | |
| 35 | 張 莉 | 「文」字的民俗學方面字源考—白川靜《釋文》の再探討 | 2014年11月 | 「漢字と東亞」國際學術檢討會 (大韓中国学会、於韓國釜山東西大学) | |
| 36 | 福田一也 | 銀雀山漢簡『民之情』小考 | 2014年5月 | 「觀光、言語、文學」國際學術研討會 (台湾高雄餐旅大学) | |
| 37 | 福田一也 | 中井履軒と均田制 | 2014年6月 | 懷德堂研究会 (大阪大学) | |

| 4. 主催したシンポジウム・研究会等 | | | | | |
|--------------------|--------------|--------------|----------|------|-----------|
| No. | 発表会議名 | 開催場所 | 発表年月 | 来場者数 | 共催機関名 |
| 1 | 西欧と漢字文化との出会い | 立命館大学衣笠キャンパス | 2014年3月 | 30名 | 間文化現象学研究所 |
| 2 | 第11回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2014年4月 | 7名 | なし |
| 3 | 第12回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2014年5月 | 7名 | なし |
| 4 | 第13回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2014年6月 | 8名 | なし |
| 5 | 第14回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2014年7月 | 7名 | なし |
| 6 | 第15回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2014年9月 | 8名 | なし |
| 7 | 第16回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2014年10月 | 7名 | なし |
| 8 | 第17回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2014年11月 | 7名 | なし |
| 9 | 第18回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2014年12月 | 6名 | なし |
| 10 | 第19回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2015年2月 | 3名 | なし |
| 11 | 第20回初期漢字研究会 | 衣笠キャンパス | 2015年3月 | 5名 | なし |

| | | | | | |
|----|---|-------------------------|----------------------|-------|--|
| 12 | 『説文解字』を読む会 (計21回) | 藤本彩雲堂宅 (毎月2回) | 2014年4月から 2015年3月 | 毎月7名 | |
| 13 | 漢字教育士研修会 | 立命館朱雀キャンパス・Z会御 茶ノ水教室 | 2014年8月・2015 年2月 | | |
| 14 | 「立命館アカデミック企画—白川静と漢字教育」 | 岡山シンフォニーホール | 2014年10月 | 1500名 | |
| 15 | 第22回漢字学研究会 | 関西学院大学池内記念館 | 2014年4月 | 12名 | |
| 16 | 第23回漢字学研究会 | 関西学院大学池内記念館 | 2014年5月 | 11名 | |
| 17 | 第24回漢字学研究会 | 関西学院大学池内記念館 | 2014年6月 | 11名 | |
| 18 | 第25回漢字学研究会 | 関西学院大学池内記念館 | 2014年7月 | 8名 | |
| 19 | 第26回漢字学研究会 | 立命館大学大阪梅田キャンパス | 2014年9月 | 18名 | |
| 20 | 第27回漢字学研究会 | キャンパスプラザ京都 | 2014年10月 | 11名 | |
| 21 | 第28回漢字学研究会 | キャンパスプラザ京都 | 2014年11月 | 6名 | |
| 22 | 第29回漢字学研究会 | キャンパスプラザ京都 | 2014年12月 | 9名 | |
| 23 | 第30回漢字学研究会 | キャンパスプラザ京都 | 2015年1月 | 14名 | |
| 24 | 第31回漢字学研究会 | キャンパスプラザ京都 | 2015年2月 | 12名 | |
| 25 | 東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班 班長 大形徹) 美を探る医術 美容医術に関する東西文献選 読 発表者 武田時昌 人文科学研究所・教授 中国伝統医療文化における鍼灸と美容の共生 発表者 王財源 関西医療大学・准教授 ルネサンスの美人論—15・16世紀の西洋肖像画 に見られる美人観の変遷 発表者 中江彬 大阪府立大学・名誉教授 | 京都大学人文科学研究所 | 2014年5月10日 | 60名 | |
| 26 | 東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班 班長 大形徹) 医学史研究の最前線(1) 恥さらしの私の 人生—出版から 発表者 奥澤康正 眼科医、京都医学史研究 会・副会長 討論会「氣の流れ—身体技法のコスモロジー」 『入薬鏡』と煉丹術の原理 発表者 加藤千恵 立教大現代心理学部・准教授 | 京都大学人文科学研究所 | 2014年7月6日 | 60名 | |
| 27 | 東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班 班長 大形徹) 第1回伝統医療文化国際ワークショップ「東 医宝鑑に見る日韓医学交流」 東医宝鑑の日本的受容 発表者 吉田和裕 順天堂大学大学院医学史学研究室・O.D. 東医宝鑑と東アジア 発表者 申東源 韓 国科学技術院 (KAIST) ・副教授 | 京都大学人文科学研究所 | 2014年7月22日 | 60名 | |
| 28 | 東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班 班長 大形徹) | | 2014年9月7日 | 60名 | |

| | | | | | |
|----|---|----------------------------|--------------|------|--------------------------------|
| | <p>医学史研究の最前線(2) 日本における本草書の評価 一正倉院薬物等の調査から</p> <p>発表者 米田該典 大阪大学大学院医学系研究科医学史料室・研究員</p> <p>討論会「経穴とはなにか」</p> <p>思うツボ一経穴探しの手法と実践</p> <p>発表者 戸ヶ崎正男 蓬治療所・所長、日本伝統鍼灸学会・学術部長</p> | | | | |
| 29 | <p>東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班)</p> <p>班長 大形徹)</p> <p>黄帝内経の新研究 発表者 真柳誠 茨城大学・教授</p> | 京都大学人文科学研究所 | 2014年10月5日 | 60名 | |
| 30 | <p>京都大学人文科学研究所科学史研究室術数学国際ワークショップ2014-12</p> <p>形与真: 道教“形”論思想述要 発表者蔡林波 中国華東師範大学哲学系・副教授</p> | 京都大学人文科学研究所北白川分館 | 2014年12月10日 | 30名 | 共催: 日本道教学会、大阪府立大学人文学会2014学術研究会 |
| 31 | <p>東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班)</p> <p>班長 大形徹)</p> <p>中国喫茶文化考 発表者 関剣平 立命館大学・客員教授</p> | 京都大学人文科学研究所 | 2014年12月21日 | 60名 | |
| 32 | <p>日本道教学会第65回大会(会長 大形 徹) 『淮南子』に見える共公について 発表者 今井環 大阪府立大学大学院</p> <p>女媧と伏羲 発表者 重信あゆみ 森ノ宮医療大学</p> <p>葛洪に擬せられる醫方について 発表者 多田伊織 京都大学人文科学研究所講師</p> <p>『弘明集』『廣弘明集』に見られる道教批判の体系化について 発表者 李蘇書 東京大学大学院</p> <p>台湾シャーマニズムから見る靈魂世界 発表者 王貞月 西南学院大学非常勤講師</p> <p>当代中国道教の現状 講演 尹志華 中国道教協会国際部</p> <p>上海道教協会の活動 講演 吉宏忠 上海道教協会会長</p> <p>当代上海道教の宮観と道士 講演 姚樹良 上海道教協会副会長</p> <p>2日目</p> <p>道士から聞く現代の道教</p> | 大阪芸術大学スカイキャンパス(あべのハルカス24F) | 2014年11月8~9日 | 250名 | 共催(2日目) 京都大学人文科学研究所・術数学研究会 |
| 33 | 東アジア巫祝文化研究会第39回例会 | 於奈良教育大学 | 2014年9月 | 10名 | なし |

| 5. その他研究活動(報道発表や講演会等) | | | | |
|-----------------------|------|--------------------------|--------------------|-----------------|
| No. | 氏名 | 研究業績名 | 発表場所等 | 研究期間 |
| 1 | 高島敏夫 | 白川静とその文字学について(1) | 茨木市生涯学習センター きらめき | 2014年6月24日 |
| 2 | 高島敏夫 | 白川静とその文字学について(2) | 茨木市生涯学習センター きらめき | 2014年6月24日 |
| 3 | 高島敏夫 | 白川静とその文字学について(3) | 茨木市生涯学習センター きらめき | 2014年6月24日 |
| 4 | 笠川直樹 | 京都市地域女性連合会夏期講座 | 京都アスニー | 2014年8月7日 |
| 5 | 笠川直樹 | 漢字教育士講座 | 放送大学 | 2014年12月28日 |
| 6 | 笠川直樹 | 日本シェアリングネイチャー協会アドバンスセミナー | 宇多野ユースホステル | 2015年1月12日 |
| 7 | 久保裕之 | 「どうしてできたの食と農の漢字」 | 家の光協会『ちゃぐりん』計12回掲載 | 2014年4月~2015年3月 |

| | | | | |
|----|-----------|--|--|---------------------|
| 8 | 久保裕之 | 「いのちの歴史-白川静」監修 | 家の光協会『ちゃぐりん』掲載 | 2015年3月 |
| 9 | 久保裕之 | 「成り立ちで覚える漢字のつながり」「とっておきの漢字うんちく」監修 | 朝日新聞出版「みんなの漢字」計6回掲載 | 2014年4月～2015年3月（隔月） |
| 10 | 久保裕之 | 体験型漢字講座「漢字探検隊」 | 京都府・滋賀県・石川県・福島県・茨城県・東京都・神奈川県・静岡県・兵庫県・大阪府・岡山県にて計20回 | 2014年4月～2015年3月 |
| 11 | 久保裕之 | 「大人の漢字講座」 | 茨城県つくば市にて計3回 | 2014年7月・11月、2015年2月 |
| 12 | 久保裕之 | 福井県漢字教育研修講座 | 福井県教育研究所 | 2014年6月 |
| 13 | 久保裕之 | 福井県生涯学習講座 | 御食国若狭おばま食文化館・福井県生涯学習センター | 2014年6月 |
| 14 | 久保裕之 | シェアリングネイチャー協会研修会 | 宇多野コースホテル・京都府立植物園 | 2015年1月 |
| 15 | 久保裕之 | 高松市三谷町文化サロン | 高松市三谷コミュニティーセンター | 2014年7月 |
| 16 | 久保裕之 | 姫路立命館総会講演 | 姫路市総社会館 | 2015年2月 |
| 17 | 久保裕之・後藤文男 | 小学校への出張授業 | 滋賀県草津市立草津小学校・志津小学校および宮城県大船渡市立吉浜小学校 | 2014年9月（宮城）12月（滋賀） |
| 18 | 久保裕之 | 「漢字講座」 | 兵庫県朝来市和田山公民館 計6回 | 2014年5月～11月 |
| 19 | 久保裕之 | BS日テレ「木曜スペシャル」番組制作協力 | | 2014年2月～3月 |
| 20 | 大形 徹 | 「中国古代の人物画と龍一龍にはなぜ角があるのか」府大講座 | 大阪府立大学Uホール | 2014年9月25日 |
| 21 | 大形 徹 | 人間と文化 漢字学-漢字教育の 実践-書道と漢字教育 第3回 毛筆の指導方法（日本） 第4回 毛筆の指導方法（中国） | 放送大学 大阪学習センター | 2014年11月1日 |
| 22 | 大形 徹 | 白川文字学(The Shirakawa Letters Studies) 集中講義 | 福井大学 工学部1号館の121M | 2015年2月28日～3月3日 |
| 23 | 大形 徹 | 東洋大学「エコ・フィロソフィ」学 際研究イニシアティブ (TIEPh) 大地の思想—聖地・風水・里山 「中国の風水思想と洞天福地」 | 東洋大学白山キャンパス6号館2階 | 2015年3月17日 |
| 24 | 湯浅邦弘 | 出土資料研究待望の書—『地下からの贈り物』— | 『東方』405号 | 2014年11月号、32-35頁 |
| 25 | 張 莉 | 「白川静文字学の世界」（公開講座） | 篆刻団体随風会（於京都市立美術館） | 2014年4月6日 |
| 26 | 張 莉 | 古俗の中で蘇る文字—「西双版納」倭人の源流を訪ねて—（講演会） | 篆刻団体随風会（於難波市民学習センター） | 2014年7月6日 |
| 27 | 張 莉 | 日本における漢字の受容（講演会） | 篆刻団体随風会（於みやこめっせ京都市勧業館） | 2014年9月7日 |
| 28 | 張 莉 | 「文」字の字源と系列文字（講演会） | 篆刻団体随風会（於難波市民学習センター） | 2014年12月7日 |
| 29 | 張 莉 | 漢字から見る人の一生（講演会） | 篆刻団体随風会（於難波市民学習センター） | 2015年3月8日 |
| 30 | 張 莉 | 連載「漢字遊々」（漢字の成り立ちについて） | 篆刻団体随風会誌『龍文』 | 2014年3月～2015年3月まで6回 |

| 6. 受賞学術賞 | | | | | |
|----------|------|---------------|--------------|------|-------------|
| No. | 氏名 | 授与機関名 | 受賞名 | タイトル | 受賞年月 |
| 1 | 大形 徹 | 独立行政法人日本学術振興会 | 科研審査の優秀審査委員賞 | | 2014年10月31日 |

| 7. 科学研究費助成事業 | | | | | | |
|--------------|-------|--|------------|----------|---------|-----|
| No. | 氏名 | 研究課題 | 研究種目 | 開始年月 | 終了年月 | 役割 |
| 1 | 萩原正樹 | 宋人文集の編纂と伝承に関する総合的研究(研究代表者:東英寿) | 基盤研究(C) | 2014年4月 | 2017年3月 | 分担 |
| 2 | 中村未来 | 新出土文献の読解を通して探る中国古代思想の形成と展開 | 研究活動スタート支援 | 2013年10月 | 2015年3月 | 代表 |
| 3 | 前原あやの | 中国天文類書の継承と発展に関する基礎的研究 | 研究活動スタート支援 | 2014年8月 | 2016年3月 | 代表 |
| 4 | 大形 徹 | 中国古代における龍と舟と扶桑にみる復活再生観念の研究 | 基盤研究(C) | 2013年4月 | 2016年3月 | 代表 |
| 5 | 大形 徹 | 中国道教の地理的イメージと宗教的ネットワークに関する総合的調査と研究(代表 土屋 昌明) | 基盤研究(B) | 2012年4月～ | 2015年3月 | 分担 |
| 6 | 大形 徹 | 隋唐楽府文学の総合的研究(代表 長谷部 剛) | 基盤研究(B) | 2012年4月～ | 2015年3月 | 分担 |
| 7 | 湯浅邦弘 | 中国新出土文献の思想史的研究—戦国簡・秦簡・漢簡— | 基盤研究(B) | 2014年4月 | 2019年3月 | 代表者 |
| 8 | 落合淳思 | 甲骨文字に基づく漢字の字形・字義・字音の起原研究 | 若手研究(B) | 2013年4月 | 2016年3月 | 代表 |
| 9 | 落合淳思 | 劣化の激しい甲骨文字の認識の高精度化処理技術の確立と応用 | 若手研究(B) | 2014年4月 | 2017年3月 | 分担 |

| 8. 競争的資金等(科研費を除く) | | | | | | |
|-------------------|-------|---|--------------------------------|----------|---------|----|
| No. | 氏名 | 研究課題 | 資金制度・研究費名 | 採択年月 | 終了年月 | 役割 |
| 1 | 萩原正樹 | 白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果についての研究 | 2014年度立命館大学研究推進プログラム(基盤研究) | 2014年4月 | 2015年3月 | 代表 |
| 2 | 萩原正樹 | 白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果 | 三菱財団法人人文科学研究助成 | 2014年10月 | 2016年9月 | 代表 |
| 3 | 石井真美子 | 『銀雀山漢墓竹簡〔貳〕』訳注 | 一般財団法人 橋本循記念会 研究・調査助成金 | 2014年4月 | 2015年3月 | 代表 |
| 4 | 前原あやの | 若杉家文書『三家簿譜』の調査に基づく三家分類法の研究 | 一般財団法人橋本循記念会・中国伝統文化に関する研究・調査助成 | 2014年4月 | 2015年3月 | 代表 |

| 9. 知的財産権 | | | | | | | | |
|----------|----|----|-------|-------|------|------|----------|---|
| No. | 氏名 | 名称 | 出願人区分 | 発明人区分 | 出願番号 | 公開番号 | 登録(特許)番号 | 国 |
| 1 | | | | | | | | |

以上